

ICT 東京フォーラム2021 『デジタル社会における地域情報化の現状と課題』 開催報告

今回のフォーラムは行政のデジタル化を中心に、共催の関東総合通信局からは総務省のICT施策、東京都の副知事の宮坂さんからは都行政のデジタル化の方針および実施状況が述べられた。パネル討論では、講演者の他に地元の調布市長も加わり、地方行政のデジタル化についての取り組みと共に課題が議論された。

デジタル化を進めるためには、様々な課題もあり、デジタル社会の課題であるセキュリティへの取り組み、巧妙化するフィッシング詐欺の現状と具体的な対策が紹介された。教育現場からは、GIGAスクールが開始された状況や家庭のネット環境の課題などが紹介された。

デジタル化は、進めなければならない事は理解しているが、個人情報、守られているのだろうか？財産は大丈夫だろうか？とまだまだ国民の心配は絶えない。今後も引き続きデジタル化の知識を深め、正しく取り組みたいと思う。

コロナ第6波で自宅療養者が増加、市内約30の医療機関でオンライン診療

10月31日の衆議院選では与野党ともに「新型コロナ対策」を重点公約に掲げ、大きな争点となった。この夏の「第5波」への反省から感染力が夏より2倍、3倍も強まったケースを想定したものだ。現在は新規感染者も激減し、飲食店の時短も解除されたが、8月には都内だけで1日の感染者が5000人を超えたことを忘れるわけにいかない。思えばこの1年、「明日は我が身か」と身構える不安な日々だった。病気になったら病院に行き診察してもらえると、誰もが信じていた日本の医療体制が崩壊した。入院したくても入院できない状況の中で市内でも自宅療養者が増え、8月22日には400人を超えた。「ワクチンの接種率がこのままの状態なら、第6波で自宅療養者がまた増えますね」と市内の病院の医師は話す。国立市では市役所に早くから自宅療養者支援室を作り独自に対応したが、調布で対応したのは福祉増進部健康推進課である。

「自宅療養者の支援として、患者さんからの要請を受けて食糧配布。3日分の食糧(カップ麺や缶詰など)とトイレトーパーやティッシュなどを市の職員が届けました。今後は、きめ細かい対応のために独自の支援室が必要と思いますね」と担当者は話す。東京都からコロナ患者の情報は直接、市に届くようになった。味スタには東京都が設置した「酸素・医療提供ステーション」もある。「常時、患者さんの様子を診ることのできる施設が市内にできたことは嬉しい限り」と調布市医師会の西田伸一会長も語っている。

スマホや電話でのオンライン診療も注目を集めている。市内には病院やクリニックなど約30件近い医療機関でオンライン診療を受けることができる。「スマホの映像ではなく電話だけでも診療して貰えます。かかりつけ医に相談して予約して下さい」と前述の担当者。オンライン診療をする市内の医療機関は市のHP(ホームページ)で検索できる。市内の自宅療養者は10月中旬で2人と減ってきているが、油断はできない。人数の多い忘年会や年末の人混みは避け、日頃から感染予防対策を自覚して冬に備えたい。(大泉 清)

【FC 東京応援記】(日比生)

期待の新人の2022シーズン入団が発表された。現在、青森山田高校に在籍している松木玖生選手だ。全国で常に優勝候補の高校で1年からエースとして活躍、年代別日本代表にも飛び級で選ばれている。先ごろ行われたU23アジアカップ予選でも先発し先制ゴールを決めた。得点力と守備力の両方を兼ね備え、ポジションはボランチ、インサイドハーフ、トップ下とこなす。昨冬には欧州のクラブチームで練習参加し、卒業後は直ヨーロッパに行くと思われていたが、急転直下入団。本人曰く「土台を築いて長友選手のように世界に羽ばたきたい」との事だ。

ちょびット

法人化50周年記念ロゴ

調布社協 インフォメーション No.3

毎年12月の第1土曜・日曜に駅前広場等を会場として開催している「調布市福祉まつり」ですが、今年もコロナウイルスの影響で会場での販売は中止することになりました。

今年は、①福祉まつり募金 ②調布社協 YouTube チャンネルでの福祉団体 PR 動画配信 ③カフェ&ショップめぐり企画 でいつもとは違う形で開催します。詳細は順次ホームページにアップしていきますので、ぜひチェックしてください！



2021年11月 番組表





＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

月	火	水	木	金	土	日
8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25

テレビ番組

1日 ～ 15日	<p>① 令和3年度 第61回調布市民体育祭 9月28日市民西町サッカー場でグラウンドゴルフ。秋晴れの10月2日市民多摩川テニスコートではソフトテニス。10月10日総合体育館ではバドミントン大会が行われました。その様子をお届けします。</p> <p>② リトルギャラリー:調布の「布」と深大寺の「だるま」を掛合せた《ちょう布だるま》作り体験を開催している「だるチャンプロデュース」の作品の展示です。いろいろな表情のだるまをお楽しみください。</p>	
16日 ～ 30日	<p>① 切り絵作家 タナカマコトの展示会『風、抜ける』 インスタレーションをはじめ小品など約50点が展示されました。エントランスには一般公募作品の紙コップで作った風鈴とコラボレーションされました。</p> <p>② 深大寺十三夜観月会:10月18日雲一つない夜空には目にも眩しい月が輝き、境内に響く天台声明に、人々は月を愛でつつ耳を傾けていました。</p> <p>③ 第66回調布市商工まつり: 調布市商工会創立60周年を記念して特別ライブが行われ、「調布讃歌」(作詞・作曲:依知川伸一)が披露され、調布市商工会の公式マスコットが決まりました。</p>	

「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)

調布 FM:83.8MHz HPからは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！

ラジオ

月	放送日	内容	ご紹介
11月	1日(放送) 8日(再放送)	朗読「郷土の歴史と伝承」 調布市郷土博物館 関口宣明著	第3回は、『お風呂が珍しかった時代』、『自然の暦と農家の暮らし』朗読:柴田紀恵子
	15日(放送) 22日(再放送) 29日(再放送)	朗読「郷土の歴史と伝承」 調布市郷土博物館 関口宣明著 インタビュー:柴田紀恵子	今回は、「郷土の歴史と伝承」の執筆者である調布市郷土博物館の関口宣明さんに、執筆の苦労や楽しさなどインタビューします。

HP

新型コロナウイルスの影響で、家で過ごされている方、この機会に地域の情報を見ませんか！インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。

👉 調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式HP) (すべての番組2015年～現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)(2004年4月～2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)



ATMの前では携帯自衛を ATMから送金させる詐欺が多発

医療費や年金の還付があるとうそをつき、ATMから送金させる「還付金詐欺」がとどまるところを知らない。最近ではコロナに便乗して「対面では話せないでATM前に来て下さい」との呼び出しも多い。調布警察署(電話042-488-0110)は「還付金、ATMの話が出る電話は詐欺です」と注意喚起。

11月9日～11月15日 東京消防庁の「秋の火災予防運動」

都民に防火防災意識を高めてもらうために、東京消防庁は11月9日(火)から11月15日(月)まで「秋の火災予防運動」を実施。今年の防火標語は「もう一度 確認 安心 火の用心」(作者は江戸川区在住の菅野珠加さん)。調布消防署(電話042-486-0119)は「住宅火災に注意」と呼び掛けています。



＜ご意見・ご感想をお待ちしています＞ メール catch@chofu-catch.sakura.ne.jp ☎ 070-5576-1429

郵便 〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2階 市民活動支援センター1-気付

[編集・発行] NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原 1-48-14